

# 観光地の嵯峨嵐山を体験・調査・参画しておくれやす。

小学校低学年

小学校中学年

小学校高学年

中学校

## ESDの要素

持続可能な社会づくりの構成概念

多様性

相互性

有限性

公平性

連携性

責任性

ESD視点で育みたい能力/態度

【批判】批判的に考える力

【未来】未来像を予測して計画を立てる力

【多面】多面的、総合的に考える力

【伝達】コミュニケーションを行う力

【協力】他者と協力する態度

【関連】つながりを尊重する態度

【参加】進んで参加する態度

## プログラム目標

地域独自の景観は、長い歴史に育まれたものであることを多面的にとらえ、地域の川と自然・文化・経済との密接な関わりを理解するとともに、それらを保全するために必要な努力や計画性、多様な主体との連携・協力について認識し、地域の望ましい未来像を考え、主体的に活動できるようになることが目標です。また、地域社会に貢献する自覚をもって行動する体験を経て、達成感や成就感さらに自己有用感を得ることにより、地域社会づくりの主体者となる資質や能力を育みます。

## プログラム概要

中学校2年～3年生にわたってのプログラムです。地域の環境課題について現地調査・発表を行うプログラムです。さらに、地域の国有林や河川等における個別の環境課題について官公庁・大学・地域の方などから事前学習を行ったうえで現地体験を実施します。また、エコを意識したお土産物を企画し、商品化・委託販売をします。これら一連の学習を通して学んだことを発信する機会として、地域の環境保全や観光振興についてアピールするパレードを企画・実施します。

## 学習指導要領との関連

学年 | 教科

中学校2年

社会

学習内容

身近な地域の調査

中学校3年

美術

デザイン（商業デザイン）

中学校3年

理科

自然界のつりあい

時	単元名 (題材名)	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
2年生 (1・2時間) 地域の環境課題に関するレポート		地域の環境課題を自ら見つけて、レポートにして発表する。(生徒自身に自ら現地調査を行わせる)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「身近な地域の調査」の演習であるレポート作成にむけて、課題設定の仕方やレポートの書き方等を事前指導する。</li> <li>・現地に出かけて状況を把握する大切さを理解させる。</li> </ul> <p>〔カメラ・地図・メモ帳〕</p>
			
2年生 (3~27時間) 環境壁新聞の作成		複数の班に分かれ、各自の夏季の課題レポートや地域調査・書籍やインターネットからの情報収集活動をもとに、地域の環境に関する壁新聞を作成する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・班活動で学習を深めて意味のある協力ができるように支援する。</li> <li>・壁新聞の完成図をもたせて、作業計画を立てさせる。</li> <li>・壁新聞の基本的な作成方法を指導する。</li> </ul> <p>〔夏季課題レポート・PC（インターネット）・書籍・模造紙〕</p>
			
2年生 (28~34時間) 嵐山のフィールドワーク		<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方等の案内により、嵐山の国有林に入り、地形、植生、歴史等の説明を聞く。</li> <li>・嵐山の現状を実際に確認させる。班ごとに、パワーポイント等で嵐山の現状と課題をまとめ、発表しあう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・官公庁、大学、地域の方に引率、説明を依頼する。</li> </ul> <p>〔カメラ・メモ帳〕</p>
			

時	単元名 (題材名)	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
3年生 (1~7時間)	地域生態系における外来種の影響に関する学習	地域の河川における外来種（悪臭、観光船の運航の妨げになるオオカナダモ）について講演を聞き、地域の人と駆除作業を行う。 「自然界のつながり」の単元で、地域の例（オオカナダモ）を用いて問題点を学習する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域のボランティアと調整を行う。</li> </ul> 〔メモ帳〕
3年生 (8~22時間)	嵯峨嵐山エコ土産の企画作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方から土産物の商品開発の話聞き、班ごとにエコを意識した土産物の制作企画書を作る。</li> <li>・企画書完成後はプレゼンを行い、地元の商店街の人に優秀作を選んでもらい商品化し、地域の商店で委託販売を行う。</li> <li>・商業デザインについて学ぶ。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「地域生態系における外来種の影響に関する学習」と並行実施。</li> <li>・販売に当たっては、販売に必要なものを準備させる。</li> </ul> 〔企画書作成マニュアル（ワークシート）・PC（インターネット） ・メモ帳〕
3年生 (23~43時間)	「嵯峨中パレード」で環境保全を訴える	観光振興と環境保全のための標語を考えさせる。 環境保全を訴えながら観光地において2.5kmを歩くパレードの役割分担をし、計画を立て、実施する。 また、パレード壮行会の準備と実施をさせる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3年6~10月</li> <li>・それぞれのパートで成功に向けての主体的に計画と準備に取り組みさせる。</li> <li>・警備など、地域のボランティアの協力を得る。</li> <li>・パレードと同時に募金活動を行う。</li> </ul>

時	単元名 (題材名)	活動・学習内容	指導・支援の方法、ポイント等 〔教材・必要物〕
(生徒会) 植林植樹		嵐山に桜を植樹する。獣害を考慮して柵等も設置させる。	・パレードの募金、エコ土産の売り上げを活用して桜苗を購入。

## プログラム地域化メンバー、実証協力校等

実証協力校等：京都市立嵯峨中学校2年生（6クラス）